

さん、お母さんの姿を見ることが必要です。

「お前たちを連れてやっているんだゾ」という姿勢は、全然魅力的ではないようです。

もし可能ならば一家族単位よりも複数の家族で計画をすすめ、登山ができるならばより理想的に思います。安全面からも、子育てを連帯の中で進める面からも。

わが家の「ファミリー登山」を楽しむためのポイントは

(1) 必ず簡単な打ち合わせをする。動機づけ。

(2) 山へ行ったら何をしたいか、何が食べたいか、はっきりさせる。買物物は全員で。

(3) 子どもの着がえは上から下まで必ず用意。

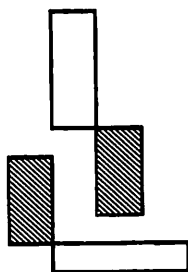
(4) 登山ルートは親が事前にしっかりと把握。

(5) 子どもは目いっぱい動く。自分のペース配分ができない。適度な休

みを充分に。

(さとう まさる) 新潟中央法律事務所勤務
ヒマラヤ登山クラブ(HCC)代表
新潟山友会(々員)

マチネ



八木三男

六月のはじめ、真夏を思わせる日差しが照りつけていた。所用が早めにおわったので、わたくしは妻と、友人の車で県立劇場へいった。一時半の開演には三〇分も間があった。久しぶりのマチネだった。

劇場のロビーは日向よりはいくらか

ましなものの、汗ばむほどだった。ロビーの椅子はもうあらかた先客に占領されていて、腰をおろす場所もなかった。先客たちは思い思いにジュースかなんぞをのんでいた。女たちが数人ジュースの自動販売機の前に群がっていた。わたくしはタバコを取り出して一服しようとしたが、生憎ライターがガスが切れていた。この頃はここの公共施設ではタバコは評判が悪いから、売っているかなとふと考えたが、ライターを買いおうと思った。

売店には女がひとりいたが、さして忙しそうでもなく、しかし手だけはこまめに動かしていた。

「ライターある？」

「あります。一五〇円ですよ」女はわたくしに同情するというわけではなしに、世のなががそうなってしまっている仕方がないのよ、といった語調で返事をした。

「へえー、高いな」女はライターの箱ごと取り出してきて、印刷された値

札を見た。

ライターは大方タバコをまとめ買いつくときに、タバコ屋からもらつていたから、最近では買つことがあまりなかつたが、それでもどこかの駅の売店で買った一二〇円というのがこれまでの最高値だった。

「これは他のより上等なのよ。ほれここがバネになつていてカチツと音がするでしょう。石を直接こするのとは違ふのよ」

「……？」わたくしはそんな区別によつて値段に違いがあるとは知らなかつた。

「……」女は少し間をおいてから、

「やーだ、こんなことをわたしに説明させてさ」笑い声になつた。

「なるほど、そういえば少し大きいようだね」

大きさは会話とは直接脈絡はなかつたが、女の勢いに気圧されたのだらう、事実そう思った。あとで比べてみたら

同じ大ききだった。

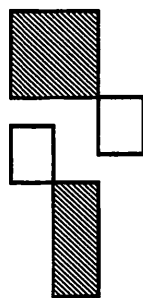
あたりが大分たて混んできた。眺めまわすとほとんどが女だった。男はわたくしと友人とあと二人しかいなかった。男は一パーセントもないと思つた。ウィークデーのマチネはこんなもんかという感じだった。

「お客さん……」さっきの売店の女がいきなり大声で怒鳴つた。不意を突かれてそのあとなにをいったのかわからなかつたが、いかにもイライラしているのがわかつた。それはあたりのすべてのお客に対する呼びかけだった。「お客さん、あと一度しかいいませんからね」いっそう声が大きくなつた。

「自動販売機に一円と五円はダメですからね、器械が動かなくなるんです」観客がホールの方に動きはじめた。もう開演の時刻になつた。

「一円玉かあ」歩きながら、膨らんだ女持ちの小銭いれが心に浮かんできた。 (やぎ みつお 県民教育研究所所長)

人間をみつけれ



宮本 徹

大変な表題をつけてしまったと思うが、この頃の私の気持ちにはこんな感じ一杯である。ここにもあった、あれもそうなのだ、と思ひ当るところがしきりである。教師生活を六十歳までやってきて、今年限りの教師かと思うと一層その感が強くなるのかも知れない。教室に出ると、生徒たちが騒いでいる。誰かがいじめられてゐる。生徒は私の姿をみて一瞬いじめをやめる。私はニコニコといじめられていた子を見る。「傷はないか、ここに居られない程に